

一次救命処置

(倒れている人がいたら...)

一次救命処置とは、心肺蘇生やAEDを用いた除細動など、心臓や呼吸が停止した傷病者に行う救命処置のことです。

一次救命処置の手順

①倒れている人がいたら、周囲の安全確認する。

②意識や反応の確認

- ・倒れている人の肩をたたき、「大丈夫ですか？」と声をかけ、反応（意識）を確認する。

③119 番通報

- ・周囲の人に119番通報とAEDの手配を依頼する。

④呼吸の確認

- ・倒れている人の胸部や腹部の観察をして、普段通りの呼吸がない場合は胸部圧迫を開始する。

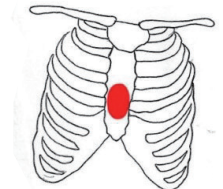
気道の確保について

下あごを引き上げるようにして頭部を後方に傾げる。



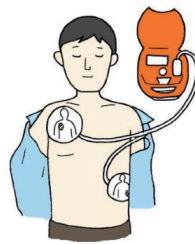
⑤胸骨圧迫

- ・1分間に100～120回のリズムで胸骨圧迫をする。
- ・圧迫解除は胸がしっかり戻るまで。
- ・人工呼吸ができる場合は、30回：2回で胸骨圧迫と人工呼吸を行う。



⑥AEDの実施

- ・AEDが到着したら、直ちに装着する。



1. 電源を入れる。

2. 電極パッドを貼る。傷病者の胸に電極パッドを張り付ける。

3. 心電図の解析

傷病者から離れ、AEDの解析を待つ。

解析の結果「電気ショックの必要はありません」という結果なら、直ちに胸骨圧迫をくりかえす。

4. 電気ショックをおこなう。

電気ショックが必要な場合

「ショックが必要です」などの音声メッセージが流れる。

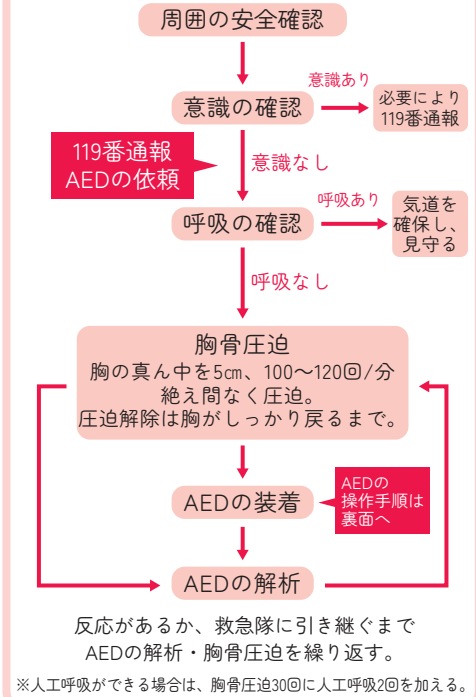
電気ショックを行うように音声メッセージが流れたら、

傷病者にだれも触れていないことを確認して、ショックボタンを押す。

電気ショック後は直ちに胸骨圧迫を行う。



一次救命処置 ～倒れている人がいたら～



反応があるか、救急隊に引き継ぐまでAEDの解析・胸骨圧迫を繰り返す。

※人工呼吸ができる場合は、胸骨圧迫30回に人工呼吸2回を加える。

